高砂市広報資料

令和8年11月 10 日

担当課	秘書課
連絡先	079-443-9000

タイトル	**JFA リスペクトアウォーズ 2026 事業部門 大賞受賞　表敬訪問**
開催日時	令和8年11月17日(火) 10:00～
開催場所	高砂市役所　本庁舎4階　秘書応接室
概要 （内容）	Cento Cuori HARIMA（チェントクオーリハリマ）が、リスペクトアウォーズ 2026 事業部門で大賞を受賞されたことの報告に来られます。 【活動内容】ユニナビサッカー教室は、チェントクオーリハリマと高砂市障がい者自立支援協議会が連携し、ボールだけで誰でも楽しめるサッカーの美点を活かし、障がい・年齢・経験を問わずに人々が同じピッチで楽しむ。勝敗を超えたつながりや感謝を地域に生み、選手・家族・高校生・地域ボランティアらが互いの尊重を育む多様性（ダイバーシティ）・社会包摂（インクルージョン）活動。 【実施期間】2018 年 9月29 日～現在（年間 4～5 回開催） 【取組場所】兵庫県高砂市ユー・アイ帆っとセンター、高砂市陸上競技場、伊保スポーツ広場 ほか
主催	高砂市
担当からの アピールコメント	
市ホームページ	掲載あり（ID:　　）　掲載予定　[なし]
添付資料	[あり]（大会資料等）　なし

RESPECT
大切に思うこと

RESPECT AWARDS 2026

Cento Cuori HARIMA･高砂市障がい者自立支援協議会

ボールだけで誰でも楽しめるサッカーの美点を活かし、障がい・年齢・経験を問わずに人々が同じピッチで楽しむ。勝敗を超えたつながりや感謝を地域に生み、選手・家族・高校生・地域ボランティアらが互いの尊重を育む多様性（ダイバーシティ）・社会包摂（インクルージョン）活動。

取り組み内容

実施場所：2018 年 9 月 29 日～現在（年間 4～5 回開催）
取組場所：兵庫県高砂市ユー・アイ帆っとセンター、高砂市陸上競技場、伊保スポーツ広場 ほか
取組内容：
当ユニナビサッカー教室は、チェントクオーリハリマと高砂市障がい者自立支援協議会が連携し、障がい者、その家族や支援者、トップチーム選手、スタッフ、地元高校生、クラブアカデミーの選手、地域ボランティアなど多様な人々が同じピッチでサッカーを楽しむ場です。2018年9月29日に第1回を開催して以来、地域に根差したインクルーシブな教室として継続してきました。活動はユー・アイ帆っとセンターの会議室から始まり、高砂市陸上競技場や伊保スポーツ広場などへ活動の場を広げ年間4～5回開催しています。勝敗や技術の優劣ではなく「一緒に楽しむこと」を何より大切にしています。普段は競技に取り組む選手たちも、この場では一人のサッカーファミリー。障がいの有無や年齢、経験に関係なく自然に交流しながら、サッカーの本質的な楽しさや人とつながる喜びを共有します。現在では施設の自主事業として継続開催されるほど地域スポーツ施設との連携も深まりました。さらに地元高校生やクラブアカデミーの選手も継続的に参加し、「誰もが一緒にサッカーを楽しむ」という次世代に当然とされるべき価値観を地域につくりつつあります。
リスペクトであると思う理由：
当教室は障がい者のサッカー教室ではありません。参加するすべての人が互いを理解し、認め合い、サッカーやスポーツの本質を学ぶ場です。障がい者、そのご家族や支援者、競技志向の選手、地域の高校生、アカデミー生、スタッフなど異なる立場の人が同じピッチに立つことで「できる・できない」ではなく、一人ひとりの個性を尊重し合う文化が自然と育まれます。競技志向の選手たちにとっても、この活動はサッカーの原点に立ち返る重要な機会でしょう。たんなる競い合いではなく、一緒にプレーして笑顔を分かち合うことで、スポーツのなかでもサッカーの強烈な特徴である「人と人をつなぐ力」を改めて実感しています。高砂市陸上競技場をはじめとした天然芝の恵まれた環境で活動できることは決して当たり前ではありません。この教室を通じ、多くの人の支えによってサッカーができる感謝が参加者に生まれます。「リスペクト」は言葉ではなく、日々のサッカー体験の中で自然と育まれる身体性そのもの。この活動を通じ、立場を超えて互いを認め合う文化を地域に広げ、誰もがサッカーファミリーとしてつながる社会を目指します。



https://takasago-uninavi.com/soccer

ニュース

前の記事へ | 一覧へ | 次の記事へ

リスペクトアウォーズ2026 受賞者が決定～サッカーファミリーのリスペクトあふれる取り組みを表彰～

2026年10月09日

ポスト



日本サッカー協会（JFA）は9月26日(土)に開催した「リスペクトアウォーズ2026」において、以下の方々・団体の受賞を決定しました。本アウォーズペクト・フェアプレーデイズの一環として開催し、受賞者は「最もリスペクトあふれる活動」を選ぶ一般投票にて選出されました。

リスペクトアウォーズ2026 受賞者

事業部門

●大賞：Cento Cuori HARIMA　・高砂市障がい者自立支援協議会

障がいの有無や年齢、経験を問わず誰もが同じピッチでサッカーを楽しむインクルーシブな活動で、選手、家族、高校生、地域ボランティアらが交流し性を尊重する文化を育む。

取り組み内容はこちら

●優秀賞：一般社団法人きらむぎサッカーパーク

地域住民や企業、ボランティアと協力して天然芝のサッカー場「きらサパ」を整備し、子どもたちの成長と地域交流を支援。感謝と思いやりの心を育みシューズをアフリカへ届けるなど、リスペクトを世界へ広げる活動を実践。

取り組み内容はこちら

●優秀賞：岩ケ谷康介氏

「勝ち負けよりも大切なこと」をテーマにリスペクト教室を継続開催。用具係やサポーター、栄養士らから学ぶ機会を通じて、多様な立場への理解や感成し、人を大切にするスポーツ文化の醸成を地域ぐるみで推進。

取り組み内容はこちら

●特別賞（審判リスペクト賞）：一般社団法人関西サッカーリーグ

10年以上にわたりチームと審判員の相互リスペクトを推進。勇退審判員への感謝セレモニーや育成年代チームとの交流機会を創出し、審判員を尊重する

成。監督・選手による審判員への労いや感謝の行動を創出。
取り組み内容はこちら

●特別賞（リスペクト理念拡大賞）：富良野協会病院RESPECTプロジェクト
サッカー界のリスペクトプロジェクトに賛同し、病院内で職種や立場を超えた有志によるRESPECTプロジェクトを実施され、挨拶や感謝の推進、多職種
学習機会の提供を通じて相互理解と尊重の文化を醸成。
取り組み内容はこちら

リスペクトのためのちょっとした工夫部門

●会長賞：
ベルガロッソいわみ及び鳥取 KFC
取り組み内容はこちら

・若葉FC
取り組み内容はこちら

・北海道サッカー協会女子委員会、北海道シニアサッカー連盟、北海道サッカー協会審判委員
取り組み内容はこちら

※2026年度応募数（事業・取り組み部門：27件、リスペクトのためのちょっとした工夫部門：11件）

リスペクトアウォーズとは

JFAが推進する「リスペクト・フェアプレー」の理念を体現する活動や取り組みを表彰する活動です。ピッチ内外を問わず、サッカーに関わるすべての人
「大切に思うこと」を実践している個人や団体に光を当て、その活動を広く発信することで、リスペクトあふれるサッカー文化の醸成を目指しています
手、審判員、指導者、保護者、ボランティア、地域社会などサッカーを支える人々への敬意や感謝、多様な価値観を認め合う姿勢を具体的な行動として
り組みを称え、その価値をサッカーファミリー全体で共有することを目的としています。
また、本アウォーズは優れた活動を表彰するだけでなく、全国各地で実践されている創意工夫や先進事例を広く紹介し、それぞれの地域やクラブ、学校
ける新たな取り組みのきっかけを生み出していくことを願い、開催しています。
JFAは、本アウォーズを通じて、誰もが安全・安心にサッカーに関わることができる環境づくりを推進するとともに、「リスペクト＝大切に思うこと」の
げ、豊かなスポーツ文化の創造を目指していきます。

JFAリスペクト・フェアプレーデイズとは

JFAは9月を「JFAリスペクト・フェアプレーデイズ」と定め、サッカーファミリー一人ひとりがリスペクトやフェアプレーについてあらためて考え、行
としています。リスペクトの本質は、常に全力を尽くしてプレーすること。それはフェアプレーの原点です。JFAは、リスペクトを「大切に思うこと」と
ッカーに関わるすべての人、ものを大切に思う精神を広く浸透させるため、さまざまな活動を展開しています。

2026年の取り組み ▸ https://www.jfa.jp/respect/fairplaydays/news/00036480/

関連情報
リスペクト・フェアプレー
JFAリスペクト フェアプレー デイズ

関連ニュース

リスペクト・フェアプレー	2026/09/01	あなたの写真で伝える「大切に思うこと」。「リスペクトのある風景フォトコンテスト」を開催！
リスペクト・フェアプレー	2026/09/01	9月26日(土) 2026年度リスペクトシンポジウム　テーマは「審判員とのリスペクト」JFAサッカー文化創造拠点「blue-ing!」とオンラインで開催
リスペクト・フェアプレー	2026/09/01	リスペクトアウォーズ2026一般投票を開始！
リスペクト・フェアプレー	2026/07/02	小学5年生～高校3年生の皆さんへご協力のお願い – U-18子どもパブリックコメントおよびユース審判員パブリックコメントの実施について –